

# 目黒稻門会会報



(題字: 真仁田 勉 初代会長)

第82号 2019年3月

発行人: 後藤 克彦 編集長: 猪名川 一雄 事務局長: 金井 豊男  
事務局: 〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel 03-3713-1684

## 2019年新年会を開催

2019年1月20日(日)、ホテル雅叙園東京で目黒稻門会新年会が開催されました。

当日は来賓として、青木英二・目黒区長、海老沢勝二・元NHK会長、岡本宏一・早稲田大学キャンパス企画部長兼校友会常任幹事ならびに梅原竜司・早稲田大学総長室社会連携課長にご出席頂きました。出席者総数72名(来賓4名、会員・ご家族66名、学生2名)。



第1部講演会では、海老沢勝二氏(早稲田大学評議員・元NHK会長)を講師に招き、「早稲田と人材教育」と題した講演が行われました。海老沢氏のジャーナリズムの実務経験に基づいた、母校の改革への提言を拝聴し

ました。(講演要旨後述)

講演の後に場内は休憩に入り、午後5時からの第2部懇親会は、再び石川副事務局長の司会により、始めに後藤克彦会長より新年の挨拶がありました。

### <後藤会長挨拶要旨>



明けましておめでとうございます。今年は記念すべき年になります。平成から新しい年号に変わります。早稲田大学では新記念会堂でもある早稲田アリーナがオープンになります。そして目黒稻門会も設立20年を迎えます。1999年1月30日に真仁田初代会長の

元で"明るく楽しく元気よく"をモットーにして設立されました。今年の7月には総会と記念のイベントが予定されております。すでに委員会では記念

のイベントのアイデアを出し、進めております。是非、楽しみにして頂きたいと思います。会員の皆様、ご家族の皆様、そしてここに御列席の皆様が健康で楽しい年になることを祈念いたします。今年もよろしくお願い申し上げます。

続いて来賓の早稲田大学・岡本宏一部長ならびに梅原竜司課長より挨拶がありました。挨拶を通じて、西原春夫12代総長も制定に関わった平成の元号への思い入れ、早稲田アリーナ竣工にあたって目黒稻門会から支援したことに対して、感謝の意を述べられました。



岡本部長



梅原課長

続いて、丸山忠生会員による乾杯の発声で懇親会が始まりました。



懇親会の冒頭では、米寿を迎える千野逸平会員を祝い、花束が贈呈されました。

その後、新入会員が壇上にて紹介されました。

招待現役学生2名の紹介では、北島佳奈さん(人科3年)、千野愛実さん(人科2年)が紹介され、所沢キャンパス祭の実行委員として、学園祭の紹介と挨拶を行いました。

しばらくの歓談に続き、青木英二・目黒区長が会場に到着、後藤克彦会長より目黒区サクラ基金に対

する寄付金の目録が青木日黒区長に手渡されました。  
(ボランティア部会報告を参照)

続いて、狩野俊夫副幹事長より設立20周年記念シャツ販売の案内、小杉哲ボランティア部会長よりボランティア募金活動への一層の協力のお願いがありました。



盛会の中、司会より校歌斉唱が告げられ、松田哲也会員による指揮で都の西北を斉唱。

中締めは、市瀬一江幹事の挨拶と参加者への謝辞の後、お開きとなりました。

(笠谷 記)

#### <海老沢勝二氏 講演要旨>

これからの時代、我が国は一層、教育と人材の育成に力を入れていく必要がある。

早稲田大学の課題として、現状は1都3県すなわち東京近辺出身の学生が7~8割を占めており、より幅広く、地方から優秀な受験生を受け入れる仕組みを構築すべきと考える。伝統を守りつつも、時代の変化に応じて柔軟に改革を進めなければならない。

たとえば佐賀における全寮制を視野に入れた試みでは、地域の特性に応じた形で、優秀な生徒、質の高い教員による学びの在り方を模索している。

大学においては、田中愛治総長がこれまでの方法論を脱し、早稲田の改革を進めるために、創立150周年を見据えたVision150を掲げており、世界大学ランキングのベスト10に入れるような教育機関を目指している。

私はNHKにおいて、政治・国際情勢の動向を見つめてきた。明治から今に続く憲政史上、早稲田からは7人の総理大臣をはじめ、多くの国家のリーダーを輩出してきた。未来のために優秀な人材を育成することこそ早稲田にとって大切である。

平成という時代を振り返れば、多くの災害に見舞われはしたものの、戦争はなく、全体として平和な30年であった。陛下も安堵されていることと思う。しかしながら世界を見渡したとき、至るところで課題が山積みである。

国際社会においては、現代社会を見る上で、歴史を学ぶことは必須の教養である。我が国ではそのような大局観をもって、鳥の目で俯瞰し、戦略的に舵

取りを進めるような意識が国民性の中に十分に育っていないのではないか。海洋国家として、教育力の向上を通じて我が国の力を養うことが肝要である。

#### 新年会出席者(敬称略、五十音順)

(来賓)

青木 英二・日黒区長

海老沢勝二・講師 元NHK会長、早稲田大学評議員

岡本 宏一・早稲田大学キャンパス企画部長兼校友会常任幹事

梅原 竜司・早稲田大学総長室社会連携課長  
(招待現役学生)

北島佳奈(人間科学部3年)、  
千野愛実(人間科学部2年)

(会員・ご家族)

浅海敏之、荒瀬修一郎、安藤 孝、安藤虎雄、  
安藤嘉昭、石川智子、石川純子、市川 亘、  
市瀬一江、市瀬達夫、伊藤 悠、猪名川一雄、  
井村正陽、岩崎正夫、鶴野洋治、海口昭治、  
大内久美子、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、  
大野利幸、奥村忠男、小倉利允、笠谷興一朗、  
梶 恵作、加瀬祐子(※1)、金井豊男、  
狩野俊夫、川井信義、川崎秀一、川崎真樹子、  
小杉 哲、後藤克彦、後藤眞由美、佐伯文子、  
佐久間 喬、島田久家、高橋圭吾、田島順一郎  
(※2)、田添麻友、橘かがり、地田博昌、  
千野逸平、手塚仁雄、外岡 明、永井正孝、  
中上美代子、永田耕治、中西元樹、服部尚彦、  
林田雅敏、古矢美美子、堀井良造、牧野武夫、  
松田哲也、丸山忠生、宮村直身、村上 祯、  
村山 弘、森家一三、保井 正、吉田博行、  
吉田千代、吉野博明、吉本政治、吉本美恵、  
※1代理・茨木祐子、※2代理・田島清志



## 各部会からの案内・報告

### ウォーキング部会

まだまだ天候が不順といいますか台風が例年になく多い年になりましたが、皆様体調は大丈夫でしたか。これからは少しあはいい季候になるのではと期待しています。これからも健康に注意して楽しく歩きましょう。特に初参加者、女性は大歓迎です。

#### 実施報告

- 9月例会 羽村取水堰と多摩川を歩く  
日時 9月18日(火) 参加15名
- 10月例会 武藏野三十三観音めぐり 第6回  
日時 10月16日(火) 参加11名
- 11月例会 津久井宝が峰と遺跡  
日時 11月20日(火) 参加8名
- 12月例会 芝大神宮から泉岳寺  
日時 12月18日(火) 参加15名
- 1月例会 深川七福神巡り  
日時 1月4日(金) 参加13名

#### <1月例会に参加して>

2019年新春1月4日(金)は深川七福神巡りです。「七福神めぐり」は江戸時代よりその年の幸福を願って巡拝する信仰から來た行事です。

今回は深川の七福神めぐりです。晴天で暖かい一日でした。門前仲町駅にはいつもより1時間遅れの午後2時に集合し、以下の順にめぐりました。

- ①富岡八幡宮(恵比須神) ②冬木弁天堂(弁財天)  
③心行寺(福禄寿) ④円珠院(大黒天) ⑤龍光院(毘沙門天) ⑥深川稻荷神社(布袋尊) ⑦深川神明宮(寿老人)

富岡八幡宮は三が日過ぎているにも拘わらず、沢山の出店と人で賑わっていました。その他の②から⑦の寺社にも七福神めぐりの為に配られた地元地図持参で参拝する方々がいらっしゃいました。

深川七福神めぐりで気づいたことは、神仏習合が普通に存在することです。庶民には神仏の区分けなく拝む対象としてあり続けたのでしょう。また深川には七福神以外にも多数の寺社があり、信仰の深い街などの印象を受けました。また面白かったのは、途中に間宮林蔵の墓や茶阿の局の墓や伊東深水生誕の地があったことです。この地は多くの歴史上の有名人ゆかりの地でもあったわけです。街歩きで面白いのはこのような発見をした時です。狭い範囲内に内容が凝縮された街でした。

お参りを早々に済ませ、森下駅の近くの店でいつものように反省会を開きました。ビールの美味さが

印象的でした。森下駅にて散会致しました。

( 市川 亘記 )



深川神明宮(寿老人)にて  
今後の予定(小雨決行)

- 2月例会 羽村取水堰と多摩川を歩く 第2回  
日時 2月19日(火) 午後1時  
集合場所 JR青梅線羽村駅改札外
- 3月例会 武藏野三十三観音巡り 第6回  
日時 3月19日(火) 午後1時  
集合場所 JR八高線高麗川駅改札外
- 4月例会 九品仏淨真寺から立源寺まで  
日時 4月16日(火) 午後1時  
集合場所 東急大井町線九品仏駅改札外
- 5月例会 鎌倉古道を歩く  
日時 5月21日(火) 午後1時  
集合場所 西武国分寺線小川駅改札外

参加される方は下記まで連絡下さい。

牧野携帯 090-9649-6868

ウォーキング部会長 牧野武夫

ご希望の場所があれば御一報下さい。参考にさせて頂きます。

### 囲碁部会

2月定例囲碁部会は下目黒住区センターの改修工事のため休会となります。

今年も定例囲碁部会は毎月の第三木曜日午後1時より5時まで、下目黒住区センター第2会議室にて開催されます。

校友会との三大囲碁大会は下記のとおりです。

- |               |          |
|---------------|----------|
| 第19回オール早稲田囲碁祭 | 6月1日(土)  |
| 第19回稻穂会囲碁大会   | 9月15日(日) |
| 第58回オール早慶囲碁   | 12月7日(土) |
- 囲碁部会長 保井正

## 若木会

11月25日(日)に開催された目黒シティランに、当会から5名(内2名はミニマラソン)が参加しました。今年は10kmランナー全員が制限時間内に完走しました。各ランナーのネットタイム記録は次の通りです。高橋圭吾(1時間00分20秒)、村上柾(1時間12分2秒)、狩野俊夫(1時間12分37秒)。各ランナーと応援者は、目黒稻門会設立20周年記念Tシャツを着て参加しました。大会終了後、サイゼリヤ中目黒駅前店で恒例の懇親会を行い、ランナーの健闘を称えました。



なお、若木会は部会長が交代となりました。中西元樹・前部会長から笠谷興一朗・新部会長に引き継ぎ、これから活動方針、イベントを計画しています。

若木会部会長 笠谷興一朗

## カラオケ部会

2018年11月9日(金)に開かれましたカラオケ部会には他用があり私は欠席致しましたが、参加者は僅か5人と私が記憶している限りでは最少でした。12月14日(金)に開催されました忘年会を兼ねた部会への参加人数は9人で、一昨年の12月8日(金)に開かれました部会への参加人数が13名であった事を鑑みますと、些か少ない印象は拭えません。本年最初の部会は1月11日(金)にありましたが、参加者は7人に留りました。何時も出られておられる副部会長の佐藤さんと永田さんは、事情が許さず欠席されました。カラオケの先生とお呼びしても許される佐藤さんは、横文字の歌を数多く唄われますが、声も大きい彼がいないと寂しい印象が拭えません。しかしながら浅海敏之さんがご本人も何年振りか判らない位久し振りに参加され、力強い唄声を披露されました。

カラオケ部会長 奥村忠男

## 俳句部会

### 第113回 萩句会報告

日時 2019年1月14日(月)14時~17時  
(順不同)

川井素山	はち切れる袋に覗く破魔矢かな
保井寶正	書初めに乱と大きく墨しけり
佐久間喬	松取れて洗濯物の白さ映ゆ
丸山醉宵子	湯豆腐や拍子木の音遠のひて
菊地崇之	邸宅街スーツ姿の松納
吉田啓悟	松納夢のひとつを片付ける
青木英林	雪吊や雪待つ縄の遊びかな
山本草風	大言ののちに悔いあり屠蘇の醉
渡辺鯨波	松とれて路地の奥よりサキソフォン
原 晶如	松とれて浜に鳶の大滑空
後藤克彦	減塩の残り御節や老いの春
永井正孝	寒空に笛吹きあはす冬木立
金森純女	校庭に日差しのありて淑氣満つ
瀧谷瑠璃	手作りの門松取られ名残惜し
青葉ひかる	松とれて更に陽光のまぶしさよ

### 光明の洩れくる薔の穴刻む

#### 薔(びつ 蓼根)

人生常に前進とばかりゆかない。  
時には後退することも。  
しかし、後向きで歩く難しさは誰もが知っている。  
人間は二足歩行になったときから、厭でも前を向いて歩くしかないことを知った。ずっとこの先も。

中原道夫主宰が新潟日報元日版に寄せた句です。  
主宰は1997年から同紙の文芸欄選者をされています。

俳句部会長 佐久間 喬

## 麻雀部会

第76回年末大会は武藏小山サンにて開催され12名参加しました。優勝 鈴木氏、準優勝 村上氏、3位は松尾氏でした。

第77回定例大会は2月11日(月)、武藏小山サンにて12時30分より開催されます

麻雀部会長 鵜野洋治  
さん月会

昨年は参加者が少ないままに推移しましたので、何とか参加者増を図るべく検討したいと考えています。選択肢は限られていますが、会場、開催日等々で参加者のご意見を伺いながらご相談をさせていただきます。

さん月会部会長 村山 弘

## 旅行部会

### じっくり金沢と名湯・山中温泉

市川 亘（昭和51年 商）

旅行部会は『じっくり金沢と名湯・山中温泉』の旅（2泊3日）をクラブツーリズムの企画を一部買取る形で実施しました（会員とその家族16名参加）。

2018年11月28日（水）朝、全員東京駅に集合し、新幹線で越後湯沢へ、そして越後湯沢から金沢へは高速を使いバスで移動しました。

午後1時30分頃金沢着。初日はひがし茶屋街、兼六園、長町武家屋敷に行きました。ひがし茶屋街は昔の色町が整備され、小奇麗な観光スポットとして再生されていました。雰囲気を楽しみつつ皆さんお土産品の物色に余念がありませんでした。



兼六園では、地元の案内嬢について回り、紅葉も楽しめました。

長町武家屋敷は、往時を偲ばせる町並みが保存されており、足軽の住んだ家を拝見しました。「足軽でも一戸建てとは流石加賀100万石」との声がありました。

ホテルでの夕食後は吉本さんご夫婦の案内で夜の兼六園を散策。水面に映る紅葉が幻想的で、日中の兼六園とは別の姿を見ることができました。

2日目は、九谷焼窯元、丸岡城、永平寺、東尋坊に行きました。

九谷焼窯元では醤油差し等を買われた方もおられた

ようです。次の丸岡城は典型的な平山城で、人柱のいわれもあり、涙を誘いました。

永平寺は山の斜面に佇む大伽藍で、その大回廊を巡りました。回廊の途中には巨大なすりこぎ棒があり、皆さん撫でていました。お昼は精進料理を堪能しました。



東尋坊は自殺の名所として有名で、またサスペンスドラマのロケ地として有名です。怖いほどの断崖で足元は不規則で、引き込まれる感じがします。

2日目の宿泊は山中温泉です。食事は豪華なカニ食べ放題。吉本さん差し入れの日本酒を飲みました。銘酒「手取川」が印象的でした。

3日目は鶴仙渓、那谷寺、五箇山、莊川峡に行きました。まず朝食後、近くの鶴仙渓を散策。緑の川面と紅葉が美しく、地元民から「もう1週間早ければ最高だったのに」と言われましたが、充分綺麗でした。

那谷寺は紅葉・奇岩・信仰・芭蕉句碑が素晴らしい言葉がありません。「天下の奇勝」だなと思いました。滅多に来れないお値打ちものの景色でした。



五箇山は合掌造りの建物があります。日本の里山の風景が残っています。雰囲気を楽しみました。



庄川峡はバスからの景色で、途中で休憩。ダム湖の碧と紅葉が素敵でした。この後帰途につきました。

バスは長時間乗りましたが、面白い添乗員さんの話に退屈しませんでした。点在する要所を上手く回れたと思います。井村さんのご手配、いしかわ観光特使をされている吉本さんのご配慮には深く感謝致します。

## 早稲田スポーツ観戦部会

平成30年11月11日(日)横浜スタジアムで行われたアメリカンフットボール秋季リーグ戦、今シーズン無敗4連勝中早稲田大学対中央大学を会員6名で応援観戦しました。

野球場での観戦は初めて。ベースからセンターに向かって配置されたフィールド(芝生無しのインフィールド部)を一塁側から斜めに見ることには若干違和感がありました。試合は、第1Q(7-0)、第2Q(10-0)、第3Q(14-0)、第4Q(0-14)の31対14で早稲田が快勝、無傷の5連勝で関東制覇へ大きく前進しました。

試合後の反省会は無傷の5連勝を祝し、中華街で10年(2本)、5年陳釀・紹興酒を酌み交わしました。



平成30年12月2日(日)秩父宮ラグビー場で行われた関東大学ラグビー対抗戦、互いに優勝(帝京大学と同時優勝)を懸けた伝統の早稲田大学対明治大学を会員18名で応援観戦しました。

早稲田は前半、2トライ、2コンバージョン、1ペナルティゴールを挙げ17対13で折り返すと、後半は2トライなどでリードを更に広げ、終盤、明治の猛反撃をかわし31対27で勝利しました。6勝1敗で8年ぶりとなる対抗戦優勝を決めました。

試合後の祝勝会では、8年ぶりの優勝を祝し、20年(2本)、5年陳釀・紹興酒を酌み交わしました。



早稲田スポーツ観戦部会長 犬野俊夫

## ボランティア部会

東日本大震災直後にボランティア活動の検討会が開始され、2011年7月の第12回総会で創設が承認された当部会も8年目を迎えました。目黒区サクラ基金や災害義援金等の募金活動だけでなく、目黒川沿道清掃作業などみずから汗を流す活動も行っています。また、寄付額も累計で110万円を超えるました。

2018年12月7日(金)9時半、会員8名が軍手とレジ袋を持って目黒川にかかる田道ふれあい橋の上に集合しました。春夏秋の毎年3回行われる「目黒川を豊かな生活環境にする会」主催の目黒川沿道清掃作業に参加するためです。ペットボトルや空き缶などのゴミを主催者が用意した大型炭バサミで拾い集めました。次回3月8日(金)の作業にも多数の会員からすでに参加申し込みが集まっています。



2019年1月20日(日)開催された2019年新年会では、来賓の青木目黒区長に後藤会長から目黒区サクラ基金寄付目録が贈呈されました。この寄付は2015年から始まり、今回で5回目となります。



本部会は全員参加で、無理せず活動を長続きさせる趣旨で、会員が7名以上参加する飲食を伴う会合では一人100円の募金をお願いしております。また、地域で行われている各種ボランティア活動にも積極的に参加することとしています。今後とも本部会へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティア部会長 小杉 哲

## 目黒わが町自慢

### 東が丘

小倉利允(昭和39年 理工)

東が丘は1、2丁目があり、おおよそ駒沢通り、自由通り、世田谷区境に囲まれた目黒区の3.8%の面積、住民2.7%が住む地域である。1丁目はほぼ全域住宅地であり、沿道を除いて唯一住宅地に60年以上前から中華ひふみ亭一軒だけがある。2丁目は東京医療センター、東京医療保健大学関連施設が半分近くを、駒澤オリンピック公園の東側の一部と住宅地区で構成されている。地域には、東根小学校、東根公園、芳窪街かど公園、アゼルバイジャン及びガボン大使館が点在している。

正式名称独立行政法人国立病院機構東京医療センター(平成16年)は、明治17年に海軍軍医学校第2病院として生まれ、昭和20年に占領軍に接収され国立第二病院になった後、現在に至っている。

東が丘の名称は昭和39年の住居表示制度の実施に伴い東根、東が丘の名称が候補に上がり住民の賛否両論が渦巻く中、学識経験者を交えた議論の末生まれた。目黒区が誕生した昭和7年には大原町、芳窪町と言っていた地域であり、この部分から八雲4、5丁目を除いて、東が丘になった。この為、現在でも芳窪町会が存在し東が丘1丁目、八雲4丁目の一部の住民により運営されている。芳窪は戦国時代の1551年(天文20年)の古文書にも記載があり、草が茂る窪だった場所と記され、沼の多い所でもあった旨。この沼一帯が呑川支流の一つ、柿の木坂支流の源とされ、現在の東が丘1丁目の柿の木坂緑道の出発点になっている。緑道の暗渠は昭和55年に完成したが、その前この川は世田谷区の住宅街から流れきて、東が丘1丁目35番先から目黒区に入つておらず、今でもその痕跡が見られる。

目黒区の端にある東が丘は、比較的町並みの変化が少ない閑静な住宅街であり、近くに医療機関も充実しており、大変住みやすい地域と言える。



柿の木坂緑道出発点付近

## 目黒の銭湯巡り

### 鷹番の湯

小杉 哲(昭和41年 理工)

目黒区内には12軒の銭湯があるが、天然温泉と銘打っているのはここ鷹番の湯くらいである。目黒区HPには『目黒の至福、鷹番温泉、都会の手軽なクアハウス銭湯遂にここに極まる。』と記されている。都内の天然温泉というとほとんどが茶褐色・琥珀色の湯だが、こここの湯は無色透明である。本当に天然温泉なのか少々疑問に思い、失礼とは思いながら店主にいろいろお聞きした。おまけの情報も含め次のようなことが分かった。

- ①目黒区内で唯一の天然温泉
- ②珍しい二階建て銭湯・無料駐車場付き
- ③料金460円のミニスーパー銭湯
- ④店主および二人のご子息は早大卒

この湯は温泉法に則った無色無臭のメタケイ酸冷泉で、店主から最新の成分分析書も見せて頂いた。浴場内には天然温泉表示看板もある。メタケイ酸は新陳代謝を促進し、お肌をつるつるにするとされている。即ち、ここはまぎれもない天然温泉である。

銭湯というと平屋建てで、左右に男湯と女湯を固定的に配したものが多いが、ここは二階建てで男湯と女湯を日替わりとしている。店主によると駐車場のスペースを確保するため二階建てとしたとのこと。2時間無料の駐車場が5台分あるのもうれしい。



各種ジャグジー風呂、露天風呂、サウナ(別料金)、広めの休憩室を備え、料金460円のミニスーパー銭湯の感がある。特にエステバスは都内でも有数の強力なジェット噴射パワーだと店主が自慢していた。

店主は昭和47年早大法学部卒で、ご子息お二人も早大卒ということで、特に親しく取材させていただいた。うれしいことに、これを機会に店主は目黒稻門会に入会いただいた。したがって、ここは目黒稻門会会員が店主の目黒区内で唯一の銭湯となった。

## 設立20周年記念行事について

1999年、目黒稻門会が眞仁田初代会長を中心として設立総会を開き、発足して20年の時が流れました。本年は目黒稻門会の記念すべき設立20周年目です。

目黒稻門会は、昨年9月に『設立20周年記念事業委員会』を設置し、次のステップで本委員会を中心となり20周年記念イベントについて検討、企画中です。決定次第、隨時お知らせします。

2018年 9月	今後の方針全般及びスケジュール
10月	記念総会・祝賀会の日程場所等の内定、予算検証
11月	記念総会・祝賀会の内容概略内定
12月	アトラクション候補選定・記念会報の内容
2019年 1月	招待客リスト作成・記念会報編集委員との打合せ
2月	アトラクションの決定
3月	記念総会・祝賀会プログラム作成
4月	記念総会・祝賀会各担当者選定・招待状送付
5月	全体確認・式典会場との打合せ確認
6月	最終確認

### 1) 20周年記念総会・祝賀会について

2019年7月7日（日）に第20回定期総会後に記念祝賀会をホテル雅叙園東京にて開催する予定です。1部総会の開始時間は16時、2部の祝賀会は16時45分頃より開始し19時終了の予定です。

祝賀会では参加者全員が楽しめる3つのイベントを企画中です。

1つ目は、設立15周年記念祝賀会で好評だった『目黒稻門会15年の歩み』の20周年版を放映の予定です。



『15年の歩み』  
上映風景

2つ目は、バンド演奏です。皆で歌える歌や早稲田大学の応援歌をメロディーで演奏、参加者全員に合唱していただく予定です。最近の学生は校歌を歌えないという話がありますが、応援歌もこの際、歌って覚えていただきたく思います。

3つ目のメインイベントは全員参加のゲームを予定しています。従来、目黒稻門会会員は真面目な？会員が多いためか新年会・総会ではゲームに類するイベントを行ってきました。今回、景品が全員に当たる楽しいゲームを敢えて行う予定ですのでご期待ください。

### 2) 記念品販売について

各記念行事を盛り上げるため20周年記念Tシャツ／ポロシャツ60枚を制作、販売中です。サイズは、それぞれMとLサイズを用意、価格はTシャツが2,500円、ポロシャツが3,000円です。

お申し込みは、同封の申込書に必要事項記入の上、ご郵送、電子メールください。既に、2018年11月25日（日）開催目黒シティランの競走参加者、応援団参加者に、12月7日実施目黒川沿道清掃の有志参加者に着用して頂いています。

4月の早慶レガッタ、早慶アメフト、ゴルフ部会、5月の早慶野球、7月の祝賀会および各部会主催の記念部会には、是非、このTシャツ／ポロシャツを着用してご参加ください。



前面



背面

### 3) 会報／設立20周年記念特集号について

設立15周年記念特集号と同様に、8ページ通常版会報に4ページ増やし、12ページの会報を設立20周年記念特集号として発行します。（2019年8月末送付予定）設立20周年を迎えての寄稿記事と『20年の歩み』の写真集を追加掲載する予定です。

### 4) 各部会主催設立20周年記念部会について

10周年記念祝賀会では、記憶されている方も多いかと思いますが、『こまばエミナース』で各部会展示コーナーを設置しそれぞれの活動状況を展示し、好評を博しました。20周年に向けては展示コーナーではなく、年間を通じて、各部会毎に記念部会を開催するようお願いしています。

日程等については、確定次第、会報、ホームページ、メールにてご連絡しますので、普段参加されていない部会にも、是非、ご参加ください。

設立20周年記念事業委員会委員長 狩野俊夫